

主要施設の整備候補地に於ける整備内容・費用等まとめ

※陸上競技場

候補地	県総合運動公園(宮崎市)	山之口運動公園(都城市)
整備内容	①主競技場(補助競技場や投てき練習場等は既存施設を活用) ②津波対策(避難施設だけでなく施設の基本機能が維持できるように整備する必要あり、観客席は3万人規模)	①主競技場、補助競技場、投てき練習場(主競技場の観客席を一部仮設対応とすることで、費用の縮減が可能) ②用地造成(敷地の高低差を解消するための造成等が必要)
整備費用	①施設整備＝約130億円 ②津波対策＝基本機能の維持を含む場合は高額になることが想定される	①施設整備＝約120億円 ②造成費等＝敷地の高低差があるため高額になることが想定される
その他	県が推進する「スポーツランドみやざき」の中心施設として活用していくためには、公園全体の津波対策が必要	渋滞緩和対策が必要

※体育館

候補地	錦本町県有グラウンド(宮崎市)	延岡市民体育館敷地(延岡市)
整備内容	①体育館 ②用地造成等	①体育館 ②用地造成等
整備費用	①施設整備＝約70億円 ②造成費等＝約15億円	①施設整備＝約70億円 ②造成費等＝約15億円
その他	競技団体の意向に沿う形であり、協力を得られやすい	体操やスポーツクライミングなど特殊な施設を要する競技は宮崎市に競技人口が集中しているため通常練習が困難

※プール

整備内容	①プール施設＝競泳プール(50m)、補助プール(25m) ②津波・視界対策＝県総合運動公園に整備する場合は津波対策が必要、一部屋外プールにする場合は視界対策が必要
整備費用	①施設整備＝30～50億円(一部屋外の場合) ②造成費等＝6～15億円 ※このほか整備する場所や内容により津波・視界対策が別途必要